



マインドフルネス総合研究所のホームページで地方創生 SDGs 官民連携プラットフォームの会員として、パートナーシップのプログラムを公表し推進しています。

<http://mindfulness.jp/sdgs/mokuji-sdgs.htm>



Goal 9. 産業と技術革新の基盤をつくろう

強靱なインフラを整備し、包摂的で持続可能な産業化を推進するとともに、技術革新の拡大を図る

内面の成長のスキルをすべての人の SDGs の実現のために

マインドフルネス総合研究所で研究開発しているマインドフルネス SIMT(注1)は、広く深い心の観察、感情の反応のしかたのトレーニングを含むので、人が遂行するすべての営みに関係します。特に、17のゴールとの関係を述べます。

Goal 9. 産業と技術革新の基盤をつくろう

強靱なインフラを整備し、包摂的で持続可能な産業化を推進するとともに、技術革新の拡大を図る

ターゲット

9.1 すべての人々に安価で公平なアクセスに重点を置いた経済発展と人間の福祉を支援するために、地域・越境インフラを含む質の高い、信頼でき、持続可能かつ強靱(レジリエント)なインフラを開発する。

9.4 2030年までに、資源利用効率の向上とクリーン技術及び環境に配慮した技術・産業プロセスの導入拡大を通じたインフラ改良や産業改善により、持続可能性を向上させる。すべての国々は各国の能力に応じた取組を行う。

9.5 2030年までにイノベーションを促進させることや100万人当たりの研究開発従事者数を大幅に増加させ、また官民研究開発の支出を拡大させるなど、開発途上国をはじめとするすべての国々の産業セクターにおける科学研究を促進し、技術能力を向上させる。

ターゲット

- 9.b 産業の多様化や商品への付加価値創造などに資する政策環境の確保などを通じて、開発途上国の国内における技術開発、研究及びイノベーションを支援する。
-

特に、ターゲット 9.5 でわかるように、科学研究、技術、イノベーション (STI) に関係する。『SDGs入門』は、STIについてこういう。

「大学をはじめとする研究機関や企業などは最先端技術の研究を進めていますし、イノベティブなビジネスアイデアをもって新しい市場を創り出そうという動きも活発です。

そうして創り出された科学技術・イノベーション (サイエンス、テクノロジー、イノベーションの頭文字を取って STI と呼ばれる) によって、私たち人類が直面している社会・経済・環境の様々な課題の解決に活用することや、よりよい政策決定のための科学的根拠として活用することに、世界は強い期待を寄せているのです。」(B209)

STI は遂行する技術者、研究者の自己に都合のいい立場からの STI では困る

Goal 9 は、「産業と技術革新の基盤をつくろう」というものです。内面の心は関係なさそうに見えますが、やはり、研究や技術開発は人間が遂行するのですから、エゴイズムの含まれたものでは困ります。

哲学者や社会心理学者などが、学問においてもエゴイズムが見られることを指摘している。STI が進展してこのゴールが実現するためには、従来の学説、技術にとらわれずに、絶えず新しい STI に進化していかねばならないはずだ。最先端のものは、はじめは少数説になる。しかし、従来のものが多数派であり、無視、排除されるおそれがある。

今、中心となっている専門家は新しいものが出てくると自分の学説、技術、地位を脅かすものと思えば不快に思うかもしれない。そして、最先端の新しいものを抑圧、排除するかもしれない。人は自利、私欲で行動しやすいのである。しかし、それでは、Goal 9 は、十分には実現しない。そのことを専門家も心得ておき、若手や新しい科学や技術を開発する人の活躍、新しい STI の提案を歓迎、援助すべきである。

<https://blog.canpan.info/jitou/archive/4413>

★専門家のエゴイズム

<https://blog.canpan.info/jitou/archive/2344>

★個人悪、社会悪

古い STI に執着する長老派が若手の個人の革新的な STI を抑圧、排除するのは社会悪であり、その組織の持続を妨げ社会貢献を妨害することになる。

<https://blog.canpan.info/jitou/archive/2841>

★後期西田哲学の実践論を背景にした SIMT は生活全般

<https://blog.canpan.info/jitou/archive/3205>

★学問、現実化

<https://blog.canpan.info/jitou/archive/3202>

★科学はある立場に立つ

<https://blog.canpan.info/jitou/archive/3218>

★自己を無にして＝物となって見る、物となって働く
自己都合の立場に立たない立場

<https://blog.canpan.info/jitou/archive/2425>

★大乘仏教者は、浅いところに留まるなどといったのに、現代の専門家が留まる

<https://blog.canpan.info/jitou/archive/4524>

★これは MBSR を超えている

<https://blog.canpan.info/jitou/archive/3074>

★対人場面では評価する

<https://blog.canpan.info/jitou/archive/4236>

★第4世代の認知行動療法、第5世代の？

<https://blog.canpan.info/jitou/archive/3080>

★理論と実践や臨床

<https://blog.canpan.info/jitou/archive/1814>

★自殺防止という総論があっても、実際、臨床が追い付かない

Goal 9の実現のためにどうしたらよいか

◆Goal 4

これは、Goal 4とも関連する。住民や学生に多数派説だけを教育しては、地域の問題解決が遅れる。ある立場に偏らない教育を。

◆Goal 17 パートナーシップで、STIを促進

<https://blog.canpan.info/jitou/archive/3622>

★たとえば、うつ病、PTSD、過食症などで治りにくい人の改善支援のためにマインドフルネス SIMT の臨床試験。

<https://blog.canpan.info/jitou/archive/4752>

★たとえば、排除されてきた少数説でも、SDGsの実現に貢献できそうな STI の活用を何らかの形で実現できないか。

(編集集中です)

(注1) SIMT は、自己洞察瞑想療法である。Self Insight Meditation Therapy/Technology

参照：大田健次郎(2013)『うつ・不安障害を治すマインドフルネス』佼成出版社

大田健次郎(2014)『不安、ストレスが消える心の鍛え方
——マインドフルネス入門』清流出版
ホームページでの紹介:top > マインドフルネス心理療法 SIMT とは

(注2) (Axx)は、蟹江憲史(2020年)『SDGs(持続可能な開発目標)』のページを示す。
(Bxx)は、村上芽・渡辺珠子(2019年)『SDGs入門』のページを示す。